【授業科目】総合英語演習　Comprehensive English Practice

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
Daniel T. Kirk	1年次 後　期	選　択	2	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	英語リーディングのクラスです。大学院生が研究をするときに英語の文献を利用して、英語で書かれた研究報告もアクセス出来るようにクラスを行います。外国語能力は大きく二種類です、*extensive* と *intensive*. *Extensive*能力は幅広く読める力です。*Intensive*能力は集中して、具体的に意味を理解して、自分のために解釈出来る力です。両方が私達の目的になります。各クラスに文書を選んだり、読んだり、と話したりします。Reading Logも見比べします。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／ 提出されたレポートにコメントをつけて返却する。あるいは全体の総評コメントを授業内で提示・プリント配布により公開する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー④の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1.幅広く英語の文献を読むことができる。 2.集中的に意味を理解し、説明できる。 3.自分のために解釈出来る力を身につけることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	配布された資料を事前に読んで、大まかな内容をつかんで授業に臨むこと。(各 90 分) 授業後、再度資料を読みこみ、英文の解釈力を深める。(各 90 分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1.Introductions, reading log, first short reading 2.Individual short readings and reading log 3.Individual short readings conclusions and reading log 4.Second short reading and reading log 5.Second short reading and reading log 6.Abstract selection and reading log 7.Abstract reading and reading log 8.Journal article selection and reading log 9.Journal article reading and reading log 10.Journal article conclusion and reading log 11.Second journal article selection and reading log 12.Second journal article reading and reading log 13.Second journal article conclusion and reading log 14.Final journal article selection and reading log 15.Final journal article conclusion 全て Daniel T. Kirk
評価方法 評価基準	Reading Log, conclusions 100%
教科書	なし　　参考書等　なし